

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東  
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL) 059(227)2932  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,528	32.6	266	—	274	—	173	—
30年3月期第1四半期	1,152	△12.5	△13	—	△12	—	△18	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 169百万円(—) 30年3月期第1四半期 △16百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	22.21	—
30年3月期第1四半期	△2.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	7,146	3,366	47.1
30年3月期	6,933	3,275	47.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 3,366百万円 30年3月期 3,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	10.00	10.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	6.3	380	19.1	400	22.7	240	133.9	30.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	8,257,600株	30年3月期	8,257,600株
31年3月期1Q	431,159株	30年3月期	431,159株
31年3月期1Q	7,826,441株	30年3月期1Q	7,864,041株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業損益に反映するという特徴があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、前連結会計年度からの数年間を商品開発に集中的に取り組む商品開発ステージと位置づけており、当第1四半期連結累計期間においても研究開発活動に積極的に取り組んでまいりました。

売上面では、昨年10月に主力商品のバージョンアップ版を投入したことから、当第1四半期連結累計期間においても更新需要を着実に取り込み、堅調な販売が続いております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して32.6%増加し1,528百万円となりました。

コスト面では、引き続き研究開発や商品開発に積極的に資金を投下しております。この結果、経常利益は274百万円(前年同期は経常損失12百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、173百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失18百万円)となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

#### (建設関連事業)

建設関連事業につきましては、昨年10月に土木工事積算システムの新バージョン『Gaia(ガイア)10』を投入したことにより、当第1四半期連結累計期間においてもバージョンアップ効果が継続しております。比較期間である前第1四半期連結累計期間が、バージョンアップ前の販売が低調であった期間ということもあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して41.5%増加し1,094百万円となりました。

利益面では、研究開発投資などのコスト増加要因はあったものの、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は201百万円(前年同期はセグメント損失22百万円)となりました。

#### (設備関連事業)

設備関連事業につきましては、前期から取り組んできた販売店とのリレーション強化の効果が現れ、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して14.3%増加し433百万円となりました。

利益面では、販売促進費などのコスト見直しを進めた効果もあり、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は69百万円(前年同期比363.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が660百万円増加し、受取手形及び売掛金が258百万円、有価証券が200百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて212百万円増加し、7,146百万円となりました。

負債は、前受収益及び長期前受収益が48百万円、未払金を含むその他の流動負債が111百万円それぞれ増加し、賞与引当金が75百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて121百万円増加し、3,779百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により173百万円増加し、配当により78百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて90百万円増加し、3,366百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.1ポイント下降し、47.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは558百万円の増加（前年同四半期は268百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益274百万円の計上、前受収益及び長期前受収益の増加額48百万円、売上債権の減少額258百万円などの収入があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは162百万円の増加（前年同四半期は74百万円の増加）となりました。これは主に、有価証券の償還による収入200百万円、定期預金の預け入れによる支出16百万円（純額）、関係会社貸付けによる支出10百万円などがあったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは76百万円の減少（前年同四半期は91百万円の減少）となりました。これは、配当金の支払いによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて643百万円増加し、3,520百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成30年5月11日に公表した業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,493,011	4,153,806
受取手形及び売掛金	1,069,857	811,148
有価証券	456,309	255,982
商品及び製品	5,174	2,693
原材料及び貯蔵品	9,876	7,655
その他	217,953	237,101
貸倒引当金	△300	△450
流動資産合計	5,251,883	5,467,937
固定資産		
有形固定資産	227,645	227,358
無形固定資産		
のれん	225,161	219,884
その他	22,932	27,216
無形固定資産合計	248,094	247,101
投資その他の資産		
投資有価証券	2,380	2,002
繰延税金資産	761,895	749,256
その他	444,040	454,520
貸倒引当金	△2,002	△2,077
投資その他の資産合計	1,206,312	1,203,702
固定資産合計	1,682,052	1,678,162
資産合計	6,933,936	7,146,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	143,197	159,796
未払法人税等	85,509	93,817
前受収益	900,223	934,856
賞与引当金	202,896	127,664
その他	349,280	461,047
流動負債合計	1,681,107	1,777,183
固定負債		
退職給付に係る負債	602,589	613,257
長期前受収益	1,369,722	1,383,939
その他	5,320	5,600
固定負債合計	1,977,631	2,002,797
負債合計	3,658,739	3,779,980
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	1,588,509	1,684,088
自己株式	△103,093	△103,093
株主資本合計	3,269,899	3,365,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△918	△1,275
為替換算調整勘定	6,212	1,912
その他の包括利益累計額合計	5,294	636
非支配株主持分	2	5
純資産合計	3,275,196	3,366,119
負債純資産合計	6,933,936	7,146,099

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,152,637	1,528,319
売上原価	299,008	320,941
売上総利益	853,628	1,207,378
販売費及び一般管理費	866,717	941,276
営業利益又は営業損失(△)	△13,089	266,101
営業外収益		
受取利息	353	262
受取配当金	32	32
為替差益	-	4,332
技術指導料	-	3,000
雑収入	958	712
営業外収益合計	1,343	8,340
営業外費用		
障害者雇用納付金	800	-
為替差損	308	-
雑損失	1	32
営業外費用合計	1,109	32
経常利益又は経常損失(△)	△12,855	274,409
特別損失		
固定資産除却損	-	15
投資有価証券評価損	114	-
特別損失合計	114	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12,969	274,393
法人税、住民税及び事業税	3,903	87,797
法人税等調整額	1,713	12,753
法人税等合計	5,616	100,550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,586	173,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,586	173,842



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,586	173,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,805	△357
為替換算調整勘定	118	△4,298
その他の包括利益合計	1,924	△4,655
四半期包括利益	△16,662	169,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,661	169,185
非支配株主に係る四半期包括利益	0	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12,969	274,393
減価償却費	7,809	7,086
のれん償却額	5,277	5,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	224
賞与引当金の増減額(△は減少)	△104,532	△75,231
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	280	280
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,228	10,668
受取利息及び受取配当金	385	△295
投資有価証券評価損益(△は益)	114	-
固定資産除却損	-	15
売上債権の増減額(△は増加)	271,209	258,813
たな卸資産の増減額(△は増加)	△540	4,702
仕入債務の増減額(△は減少)	26,669	16,598
未払又は未収消費税等の増減額	14,044	31,820
前受収益の増減額(△は減少)	43,787	34,632
長期前受収益の増減額(△は減少)	713	14,217
その他	28,562	35,333
小計	295,039	618,538
利息及び配当金の受取額	1,803	149
法人税等の支払額	△28,007	△60,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	268,834	558,059
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△217,800	△216,800
定期預金の払戻による収入	200,000	200,000
有価証券の取得による支出	△3	-
投資有価証券の売却及び償還による収入	100,350	200,233
有形固定資産の取得による支出	△2,255	△2,962
無形固定資産の取得による支出	△6,421	△7,451
関係会社貸付けによる支出	-	△10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△279	△597
敷金及び保証金の回収による収入	516	214
その他	△22	△432
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,084	162,204
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△91,422	△76,346
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,422	△76,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	77
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	251,497	643,995
現金及び現金同等物の期首残高	2,192,502	2,876,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,444,000	3,520,206

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	773,486	379,150	1,152,637	—	1,152,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,324	—	2,324	△2,324	—
計	775,810	379,150	1,154,961	△2,324	1,152,637
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△22,834	15,022	△7,811	△5,277	△13,089

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,094,713	433,605	1,528,319	—	1,528,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,609	1,600	10,209	△10,209	—
計	1,103,322	435,205	1,538,528	△10,209	1,528,319
セグメント利益	201,688	69,690	271,378	△5,277	266,101

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。